

## シグマ委員会1994年核データ研究会実行委員会第1回会合議事録

日時： 平成5年6月9日(木) 13:30~17:00  
場所： 原研東海研究所研究2棟221室  
出席者： 川合(東芝)、井口(東大)、岩崎(東北大)、岡嶋(原研)、佐々木(MAPI)、  
佐治(東電ワトウェア)、千葉(原研)、中島(原研)、深堀(原研)、山野(住原工) ;  
菊池、中川(原研、オブザーバー)  
配布資料： ①1994年核データ研究会第1回実行委員会(川合)  
②1994年核データ研究会のお知らせ(案)(深堀)

### 議事：

#### 1. 1994年核データ研究会の実行計画案の検討

配布資料①にもとづいて、研究会のプログラム、日程、運用などの実行計画の私案の説明が川合委員からあり、それをたたき台として検討し、以下のように決めた。講演テーマについては、前年度時期早尚として今年度にまわったものが多かったが、今年その成果が期待できるものを選ぶとともに、去年好評だった非エネルギー分野での核データ利用とニーズについても採用することにした。なお、テーマ選定に際して、先端科学ものばかりでは、原子力技術から遊離してメーカーとして出席しにくくなるとの意見も出された。研究会全体の枠は、特別の退勤バス利用を依頼するとして、最大13時間である。

(1) 研究会： 11月17, 18日

(2) 会場： 東海研究所 大講堂  
(前年度29件ものポスターも十分に対応でき、問題なしと判定)

(3) 研究会の方式：

講演； メインテーマ+トピックス(10時間、原則1件当たり約1時間)  
ポスターセッション(3時間)

(4) プログラム素案：(◎採用、○採用方向、△保留、アンケートを考慮)

#### A. セッション 5~7件(5~6hr)

	講師依頼または問合せ先	担当
1) JENDL-3.2の積分テスト； 3件		
◎核分裂炉	(原研)高野秀樹	深堀
◎遮蔽と核融合炉(2次ガンマ線に重点)	(住原工)山野、(原研)大山	山野
◎常陽でのJENDLトピックスファイルの使用経験	(動燃)鈴木惣十	井口
2) 核反応・構造論の進展； ~4件		
○核反応理論の変遷(統計モデルからFKK理論まで)	(九大)河合光路	川合
◎ハドロン工学の基礎(QMDの応用)	(原研)千葉 敏	
◎核構造核データの評価	(データ工学)喜多尾憲助	川合
◎アクチナイド核種核データの評価	(ロシア)V. Konshin	(菊池)

#### B. トピックス； 5~7件(5~4hr)

- 1) 国際協力関係(講師の滞在日程に左右される。核データセンター長に一任)
- バングラディッシュ
  - △ベトナム
  - △ベラルー스에서のオメガ関連の研究

## 2) 実験手法の進展

- |  |            |     |
|--|------------|-----|
| ◎ F C A での U238 中性子捕獲率と U235 核分裂率比の測定と解析 | (原研) 桜井 健  | 岡嶋  |
| ○ 放医研 HIMAC での重粒子ビームの応用                  | (放医研) 河内清光 | 山野  |
| △ 冷中性子の物理と利用 (JRR-3M, KENS, 京大炉)         | (原研) 曾山和彦  | 佐々木 |

## 3) 新分野からの核データニーズ

- |                          |           |    |
|--------------------------|-----------|----|
| ◎ 材料研究 (核融合炉、半導体 . . . ) | (東大) 石野 栞 | 川合 |
|--------------------------|-----------|----|

## C. ポスターセッション (3 h r)

### (5) アンケート

配布資料②を用いて研究会出欠、発表公募 (講演、ポスター) のアンケート用の書式について、深堀委員から説明があった。前年度のプログラム編集など運営の経験から、参加申込者の連絡先に FAX, E-mail をつけたことと、発表内容の分類形式がやや詳しくなった。若干の修正コメントがあり、それを反映させて最終とする。第 2 回実行委員会では、このアンケートの結果を参考にして上記のプログラムを決定することになる。

### (6) 今後の日程 (実行委員会関係分、事務局分を含めた詳細は付録参照)。

- ・プログラム素案作成 . . . . . 6月9日～16日 (←第1回実行委員会6/9)
- ・シグマ運営委員会報告 . . . . . 6月17日
- ・シグマ本委員会報告 . . . . . 7月1日
- ・アンケート回収・調整 . . . . . 7月8日 (整理→第2回実行委員会7/15)
- ・講師・座長依頼内諾確認 . . . . . 7月29日
- ・最終案作成 . . . . . 8月中旬
- ・シグマ運営委員会 . . . . . 9月 日
- ・案内・学会誌広告 . . . . . 9月中旬
- ・核データ研究会 . . . . . 11月17, 18日

## 2. 次 回

日 時 : 7月15日 (金)

場 所 : 原研本部

- 議 題 : (1) プログラム案の作成 (テーマ、講師、座長候補の選定)  
(2) 講師、座長候補への打診担当決定  
(3) 運営に関する討議 (ポスター、パネル討論)  
(4) その他

## 3. 次年度有望テーマ

- JENDL-3.2 の積分テスト (F P、核燃料サイクル)
- 光核反応核データ評価 (国際協力も含めて)
- 原子炉での遅発中性子の割合  $\beta_{eff}$  の測定 (NEANSC 国際協力)
- ロシアに委託した核データ測定・解析結果
- 新しい施設と実験 (原研タンデムブースター、核研、理研等)
- 半導体のドーピング (要調査)

以 上

## 核データ研究会日程

1994. 06. 09現在

項 目	平成4年度	平成5年度	平成6年度
◎実行委員会会合(第1回)	6月12日(金)	6月3日(木)	6月9日(木)☆
○シマ委・運営委員会に報告	6月19日(金)	6月10日(木)	6月17日(金)
論文公募・アンケート発送	6月17日(水)	6月17日(木)	6月20日(月)
論文公募・アンケート締切	7月3日(金)	7月2日(金)	7月8日(金)
○シマ委・本委員会に報告	7月3日(金)	7月2日(金)	7月1日(金)
会場予約	6月~7月	7月13日(火)	7月11日(月)
◎実行委員会会合(第2回)	7月9日(木)	7月9日(金)	7月15日(金)
◎発表者・座長の内諾確認締切		7月30日(金)	7月29日(金)
実行委員へプログラム最終案送付	8月31日(月)	8月4日(水)	8月5日(水)
◎プログラム最終案へのコメント締切	9月8日(火)	8月18日(水)	8月19日(金)
発表者への原稿依頼	10月12日(月)	8月23日(月)	8月22日(月)
講師・座長の確認発送		8月23日(月)	8月22日(月)
講師・座長の確認締切	9月30日(水)	9月3日(金)	9月2日(金)
○シマ委・運営委員会に報告	9月10日(木)	9月9日(木)	月 日( )
○「原子力学会誌」に案内記事	9月20日( )	9月17日(金)	9月16日(金)
○「核データニュース」に案内記事	10月初め	9月17日(金)	9月12日(月)
阿漕が浦クラブBCルーム借用依頼	9月3日(木)	8月下旬	8月下旬
講師・座長のプログラム最終確認	9月18日(金)	9月10日(金)	9月9日(金)
プログラム最終案確定		9月24日(金)	9月22日(木)
参加予定者への案内発送	10月15日(木)	9月28日(火)	9月26日(月)
海外へ招待状	8月24日(月)	月 日( )	月 日( )
海外への原稿依頼	10月12日(月)	10月21日(木)	10月3日(月)
宿舍申込締切	11月5日(木)	10月22日(金)	10月21日(金)
参加申込の締切	11月13日(金)	11月5日(金)	11月4日(金)
予稿原稿締切	11月16日(月)	11月5日(金)	11月4日(金)
予稿を座長に発送		11月8日(月)	11月7日(月)
外国人招聘(上申書等)	10月14日(水)	11月4日(木)	11月4日(金)
原研東海研運営会議	10月14日(水)	11月4日(木)	月 日( )
宿舍最終予約(厚生課へ)	11月3日(金)	10月29日(金)	10月28日(金)
研究会準備打ち合わせ(NDC)		11月10日(水)	11月9日(水)
研究開会状設営	11月25日(水)	11月17日(水)	11月16日(水)
◎核データ研究会	11月26日(木) 27日(金)	11月18日(木) 19日(金)	11月17日(木) 18日(金)
外国人招聘(報告書)		11月29日(月)	11月28日(月)
報文集原稿締切	12月18日(金)	12月17日(金)	12月16日(金)
○報文集原稿提出	2月4日(木)	1月中	1月中

(註) ◎○：実行委員会の仕事、☆：処理済み

1994.06.20

各 位

日本原子力研究所シグマ研究委員会  
核データ研究会実行委員会

## 「1994年核データ研究会」のお知らせ

拝啓

初夏の候となりましたが、皆様方には益々ご健勝のことと存じます。

さて、恒例の核データ研究会を本年も下記の要領で開催することになりました。研究会では、招待講演とともに、公募論文の口頭発表とポスターセッションを予定しております。研究会のテーマとしては、核データの一層の信頼性向上と新しい展開を図るべく、JENDL-3.2のベンチマークテスト及びJENDLの拡充に関する話題とともに、核データの新しい計算・評価手法、測定手法及び新分野への応用などを取り上げる計画であります。

つきましては、多数の方にご参加ならびにご発表いただきたく、同封の用紙にて、7月8日（金）までに日本原子力研究所核データセンター宛（\*）お申込下さるようお願い申し上げます。あわせて、テーマのご推薦や研究会へのご意見もお願いいたします。

敬具

### 記

1. 研究会名称： 1994年核データ研究会
2. 開催日： 1994年11月17日（木）、18日（金）
3. 会場： 日本原子力研究所東海研究所 大講堂（予定）
4. 使用言語： 日本語及び英語（国外参加者のみ）、ただし、要旨、報文集、OHPは英語で作成する
5. 締切（予定）： 論文要旨 11月 4日（金）  
報文原稿 12月16日（金）

---

\* 申込用紙返送先

〒319-11 茨城県那珂郡東海村白方白根2の4  
日本原子力研究所原子炉工学部 核データセンター  
tel. 0292-82-5907 または 5481、FAX 0292-82-6122

FAX : 0292-82-6122

〒319-11 茨城県那珂郡東海村白方白根2の4  
日本原子力研究所原子炉工学部  
核データセンター

## 1994年核データ研究会参加申込用紙

氏名 : \_\_\_\_\_

所属 : \_\_\_\_\_

電話 : \_\_\_\_\_ FAX : \_\_\_\_\_

E-mail : \_\_\_\_\_

(1、2については該当する項目を○で囲んでください。)

1. 1994年核データ研究会参加 :                   参加                   不参加
2. 発表希望 :                   希望する(口頭発表、ポスター発表)                   希望しない

3. 発表論文の標題(予定)とその関連分野など

和文標題 : \_\_\_\_\_

英文標題 : \_\_\_\_\_

分野 : \_\_\_\_\_ 分類 : \_\_\_\_\_ 区分 : \_\_\_\_\_ 発表時間 : \_\_\_\_\_

分野 : 1. 核分裂炉関係、2. 核融合炉関係、3. 遮蔽、4. 安全解析、5. 保障措置、  
6. 核燃料サイクル、7. 消滅処理、8. その他( )

分類 : a. 微分実験、b. 積分実験、c. 理論、d. 核データ評価、e. 核データの応用、  
f. 核データの検証、g. ベンチマーク解析、h. その他( )

区分 : O. オリジナル、R. レビュー、P. 提案

発表時間(口頭発表) : 30分、40分、60分、(10分の質疑応答を含む)

4. 招待講演あるいはトピックスの推薦・提案

5. 核データ研究会に対するご意見

☆発表1件及び参加1名につき、1枚に記入して下さい。(必要な分をコピーして下さい。)